

「経管チューブ」からお薬を  
投与される患者さまへ



かん い けん だく ほう  
簡易懸濁法による  
お薬の経管投与の手順

# 経管投与患者様へのお薬の投与方法 ～簡易懸濁法の説明～

当院では、経管投与の患者様の投薬に際し、安全で確実な投与方法である「簡易懸濁法」という方法で対応しております

## < 「簡易懸濁法」とは >

お薬を経管チューブから投与する場合に錠剤やカプセル剤を粉末状にしたものではなく、錠剤やカプセル剤をそのまま温湯(約55℃)に入れて崩壊させてから、お薬を経管的に投与する方法のことで

錠剤やカプセル剤を約55℃の温湯で攪拌

→ 10分間崩壊・自然放冷

→ 経管チューブ投与(体温≒温度)

患者様にお渡しするお薬は、粉末状に粉砕行為は行わず、錠剤やカプセル剤そのままの剤形で一包化しております

\*なお、お薬が硬い場合やコーティング錠の場合には、崩壊しやすいように軽く砕いた状態で一包化していますのでご了承ください

## < 錠剤やカプセル剤を粉末状にしないことによるメリット >

### ● お薬の効果・安定性が保たれます

錠剤やカプセル剤のままなので、粉末状にしたときに比べ、光、温度、湿度、配合変化などの影響が少なくなります

### ● チューブの閉塞が避けられます

「経管投与ハンドブック」(じほう社)にてお薬のチューブ通過性を確認しています

### ● お薬の内容が確認できます

### ● 中止や変更に対応できます

数種類の薬品を一緒に混ぜた粉薬では、中止・変更に対応できませんが錠剤・カプセルでは容易です

### ● お薬代が安くなります

同じお薬でも錠剤より散剤の方が高い場合があるためです

### ● 待ち時間が短縮されます

調剤にかかる時間が、簡易懸濁法では錠剤・カプセルのままなので、粉砕し粉末状にするよりはるかに短くすみ、患者様のお薬待ち時間が短縮されます

お問い合わせ等ございましたら、当院薬局へご連絡下さい

Tel:0553-32-5111(代)

塩山市民病院 薬局

# 調整方法 < シリンジ内にて崩壊させ投薬する方法 >

## 1. シリンジにキャップを付けます (30mlや50mlのシリンジ)

薬の数が多い方は、50mlのシリンジを試してください



## 2. シリンジに1回分の薬剤を入れます

(1回分の錠剤・カプセル・散剤)

※液剤は入れないでください



ポイント  
小型錠やカプセルや散剤を先端に入れないようにしてください!!

シロップ剤等の液剤は、温度を下げてしまい崩壊を妨げるので、シリンジには一緒に入れず、別々にしてください

## 3. 約55℃の温湯を作ります

～ 55℃の温湯の作り方～

方法① 「ポットの熱湯:水道水」を「2:1」の割合で混ぜる

ポットの熱湯

2



+

水道水

1



方法② ポットを60℃設定(ミルク設定)にして、コップ等に注ぎ4～5分程度冷ますか、水を少し加える

60℃設定



#### 4. 約55°Cの温湯を約20ml、 シリンジに入れます

～シリンジへの温湯の注ぎ方の例～

方法① コップに溜めて直接シリンジで吸う



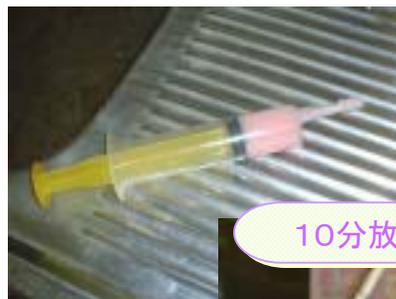
方法② 「急須等」で注ぐ



#### 5. 攪拌します (10回程度)



#### 6. 10分間は放置してくださ い (この間に薬剤が崩壊します)



10分放置後



※ 10分放置後には、体温に近い温度になっています

## 7. 経管チューブに接続する前に再度攪拌してください



## 8. チューブに接続して薬剤を投与します



シリンジを握り、人肌の温度になっていることを確認してから注入してください

## 9. 投与後、水を吸引し、再度残薬を流してください

(シリンジやチューブ内の残薬を流します)



## 10. 洗浄後、乾燥させて再利用

※油状薬剤に使用した後は食器用洗剤で洗うようにしてください



シリンジが劣化したら、交換してください

## ～ 薬剤調整時の注意点 ～

- 液剤(シロップ剤など)と温湯を混ぜると温度が低下して、錠剤の崩壊の妨げになる為、別々に投与してください
- マドパー錠(抗パーキンソン薬) + 酸化マグネシウム散・マグミット錠(下剤)は配合変化を起こし黒変するので、別々に投与してください
- 崩壊時間が厳密なお薬が含まれている場合は10分後に投与をしてください

(このお薬が含まれている場合はお知らせします)

- 崩壊後の残りカスはコーティングやフィルムなので、注入可能です
- 栄養剤の注入の途中で投与する時は投与前後に水で残薬を流してください
- 硬錠やコーティング等で崩壊に時間がかかる薬剤は、薬局で破壊処理して出します

※崩壊しない薬剤がある場合は  
薬局までご連絡ください

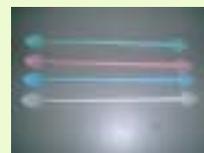


- シリンジが劣化したら、その都度交換してください
- 材質表示が「PS」「ポリスチレン」「スチロール樹脂」の器具(マグカップ・計量カップ・使い捨てスプーン等)を使用しないでください。お薬が器具を溶かしてしまうことがあります

使用  
不可



PS



～ 補足：薬のその他の崩壊方法～

< 水剤瓶やコップで >

< 直接シリンジ内で >

調整方法 の例

- 水剤瓶やコップに1回分の薬剤を入れ



- 温湯約20mlを注ぎ、攪拌



- シリンジで吸引



- シリンジに1回分の薬剤を入れ



- 温湯約20mlをシリンジに注ぎ、攪拌





じほう社の「経営投与ハンドブック」を  
参考にパンフレットを作成しました

塩山市民病院 薬局